

Ⅱ 「(仮) 飯山ぷらざ」の基本コンセプトとデザイン

1、基本コンセプト

飯山の誇れる、四季折々の彩りがもたらす豊かな自然を背景に、歴史・文化・伝統が生かされる芸術・文化活動をはじめ、機能的で誰もが気軽に利用でき、市民活動を一層活発にする「(仮) 飯山ぷらざ」の建設実現のため、次の3つの項目を基本コンセプトとして提案します。

(1) 「質の高い音楽環境が整った 芸術・文化振興の拠点」

■市の催事、演劇、コンサートなどに対応ができる質の高い音楽環境が整ったホールを設置し、市民の豊かな感性が磨かれる、芸術・文化振興の拠点となる施設とする。

(2) 「市民が集い、活気あふれる まちの交流の拠点」

■子どもからお年寄りまで多くの市民が集い、日常的な利用を支え、芸術・文化活動に加えた教育・娯楽・健康の多面的な活用ができ、市民をはじめとしたまちづくりの交流の拠点となる施設とする。

(3) 「飯山市の魅力を発信する にぎわいの拠点」

■人が集う効果を最大限に地域の活性化へと結び付けていくために、大会、地域イベントの開催をはじめ、飯山の魅力を発信する観光事業や展示会など商業的な場として、市内外の人や企業、NPOなどが活動できるにぎわいの拠点となる施設とする。

2、デザイン

「(仮) 飯山ぷらざ」の掲げる基本コンセプトの実現には、歴史・風土など地域の特性に十分配慮した施設であるとともに、環境やユニバーサルデザイン※¹⁾など、総合的にデザインの質を高める観点を加えることにより、施設そのものの価値や活用効果が期待できると考えます。

(1) 歴史・風土

シンプルで機能的なデザインを基本としながらも、飯山の歴史・風土が感じられ、市民が誇れるデザインの施設とする。

(2) 景観・居住環境

周辺の山並みなどの景観や居住環境に配慮したデザインや形とするとともに、新駅や中心市街地、寺町などとの連続性を考慮した施設とする。

(3) 環境

太陽、風力、地熱、雪などの自然エネルギーを有効活用し、環境に配慮した設備や構造を積極的に採用し、維持管理経費のかからない、安全で長く使用できる施設とする。

(4) ユニバーサルデザイン

子どもから大人まで、誰もが使いやすく利用しやすい、ユニバーサルデザインに基づく設計を基本とした施設とする。

(5) 災害対策

飯山の自然条件を考慮した、雪に強い施設とするとともに、過去の災害の被害を教訓に、また近年頻発している地震等に備え、災害時の避難所機能をもつ施設とする。

※1) ユニバーサルデザイン：バリアフリー概念の発展形で、デザインの対象を障がい者に限定せず、誰もが使いやすい利用可能なデザインにすることを基本とするもの。